

いよいよ10月から!

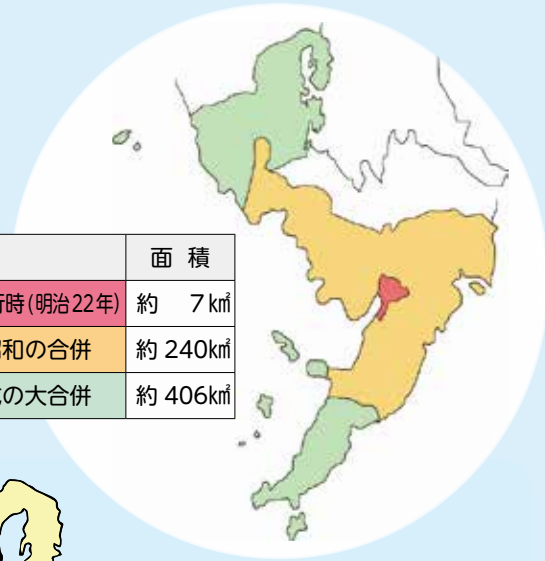
支所・行政センターは「地域センター」に変わります!

なぜ変わるの?

長崎市は近隣の町や村との合併により市域を広げ、現在は南端から北端まで、車で約2時間かかるほどの広さがあります。そのため市内には、いろいろな歴史や特性を持った「地域」があり、地域によって抱える課題もさまざまです。また、これまで昭和の合併の地域には「支所」を、平成の合併時には「行政センター」をつくってきました。どちらも地域の近くにある組織ですが、サービスの内容や職員数に違いがあります。

こうした課題や支所・行政センターのバランスを見直し、暮らしやすい地域にしていくには、地域全体が見えるように、みなさんにより近い場所で市役所と一緒に課題に取り組む必要があります。そのため、10月1日から支所や行政センターを「地域センター」に変えることで、今まで以上に、身近で便利な市役所を目指します。

	面積
市制施行時(明治22年)	約 7km ²
～昭和の合併	約 240km ²
平成の大合併	約 406km ²



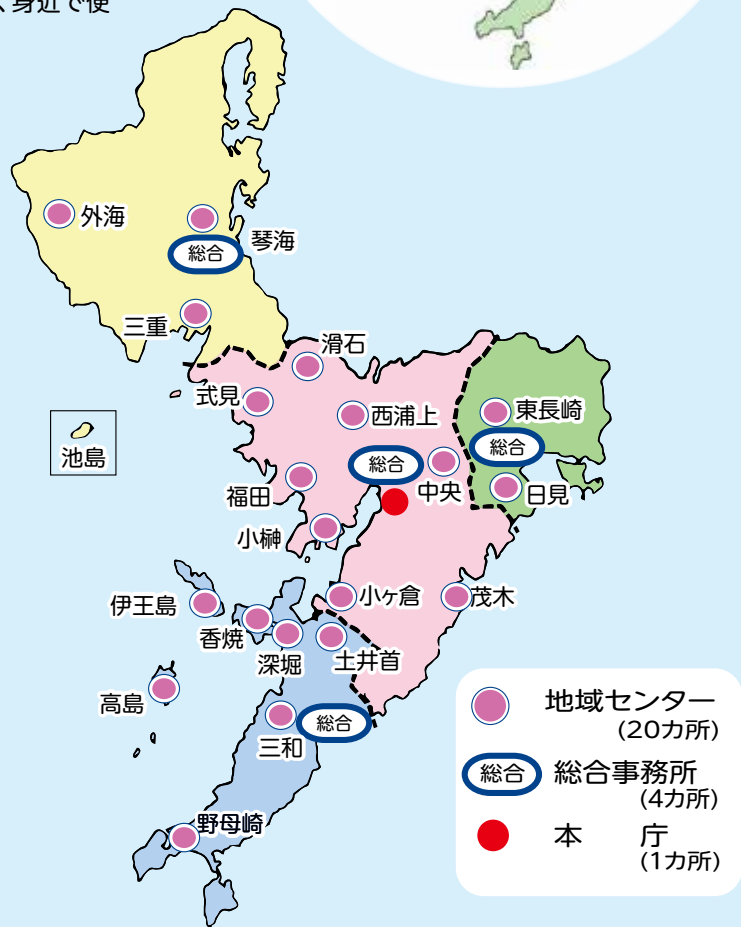
どう変わるの?

- 「支所」「行政センター」は全て「地域センター」に変わります。
- 「琴海地域センター」は、現在の「村松事務所」の場所になります。
- 「中央(本庁舎1階)」に新たに「中央地域センター」を設置します。
- 「総合事務所」を市内4カ所(中央・東・南・北)に新たに設置します。



各種手続き・相談の窓口は、
個人や地域の代表のかたは、まずは、
地域センターへお越しください。

- ★手続き・相談の内容は今月号の折り込みをご覧ください。
- ★動画でもお知らせしています。
- ★市役所の組織見直しに関するお問い合わせは、行政体制整備室(☎829-1124)まで



● 地域センター (20カ所)
 ● 総合事務所 (4カ所)
 ● 本庁 (1カ所)



↑動画はこちらから!

候補 世界遺産 探訪

～長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産～

全12回シリーズで長崎市の構成資産を中心に「潜伏キリシタン関連遺産」をわかりやすく紹介します。

第6回 外海の出津集落③

外海の出津集落では、宣教師が不在となっても多くの聖画像や教理書、教会暦を使って信仰を継続していました。聖画像には庄屋が持っていたイグナティウス・デ・ロヨラという聖人を模した像(イナッショ様)や出津に伝わった大型メダル(無原罪のプラケット)などがあります。また「こんちりさんのりやく」という教理書や、日本人伝道師バスチャンが教えたことされる「バスチャン暦」という教会暦も伝承されています。

これらは現在、出津集落内にある長崎市外海歴史民俗資料館(西出津町2800)やド・ロ神父記念館(西出津町2633)に展示されています。



イナッショ様



無原罪のプラケット

(外海歴史民俗資料館蔵)(ド・ロ神父記念館蔵)
 いずれも、12/29～1/3は休み
 ※2施設共通入館券 300円



※リサイクル用紙を使用しています。